

初めての手持ち花火大会

— 7月・天保山公園 —

4班 チャウさん (ベトナム)

この間、市岡教室の皆さんに手持ち花火祭りに誘っていただきました。これまで、花火といえば空中に打ち上げられる花火しか知りませんでしたが、手持ち花火はどんなものなのか、ちょっと気になっていました。

名前の通り、小さなサイズで手に持って遊ぶものなので、子供のおもちゃのように思えましたが、実際にやってみるとその印象は変わりました。

手持ち花火にはいろいろな種類があり、種類によって花火の形や光の色も様々です。激しく燃えて明るく輝き、すぐに消えるものもあれば、ゆっくりと燃えて派手さはなくても美しく煌めくものもあります。

撮った花火の動画の中では、特に線香花火が印象的でした。多色で煌びやかに輝かなくても、何か魅力的だと感じました。ゆっくりと煌めく線香花火を眺めながら、賑やかな祭りの雰囲気を感じると、とても楽しくて心が落ち着くような気持ちになりました。

でも、何よりも皆さんと出会い、一緒に花火を楽しみ、話したことが一番の思い出です。日本に来て



以来、こんな雰囲気です過ごすのは本当に久しぶりで、もしもっと早く市岡日本語教室を知って、日本の文化を体験できていたら、帰国後ももっとたくさんの素敵な思い出を作れたかもしれません。これからも日本語の勉強や、日本での体験をもっと頑張ろうと思っています。



浴衣を着て盆踊り

— 初めての経験 —

4班 ユディスさん (インドネシア)

日本に住んでから4か月ですが、初めて盆踊りに参加できることを聞いて、とてもワクワクしました。このような大切な文化のイベントに参加するのは初めてだったので、楽しみにしていました。

特に印象に残ったのは、たくさんの方が集まって一緒に踊る姿です。踊り方を知らなくても、一緒に踊りながら学ぶことができました。夏の暑さもあって、まさに日本の夏祭りという感じがして、とても楽しかったです。

また、浴衣を着て盆踊りを踊れたことが本当にうれしかったです。日本の文化にもっと近づいた感じがしました。ボランティアの先生たちが盆踊りの踊り方を教えてくれて、浴衣や着物の着つけも手伝ってくれて、とても感謝しています。

そして、他の国の人たちとも出会えて、とても楽しかったです。この経験を通して、日本の文化をもっと理解できるようになったと思います。これからももっとと他の文化を学びたいです。

とも めぐ 友と巡りあう うれしさよ

— 日中友好の歴史を探っていきたい —

1班 五味 久美さん (ボランティア)

昨年(2023年)7月28日、中国遼寧省の王鉄軍さんと初めて学習をしました。彼は「野菜のふるさと」という資料を見て、日本原産のフキ、セリ、ウドに興味を持ちました。私はフキについて詳しく話すことができず、ただ自宅庭で若草色のフキノトウが生えている写真を見せるだけでした。しかし、「野菜は薬だ」の本によれば、フキは発熱や頭痛、咳、切傷、軽いやけど、虫さされなどに効果があるとされています。

中国では、「薬食同源」や「医食同源」という考え方があり、日常の食事で五味(酸っぱい、しょっぱい、甘い、からい、苦い)を通じて五臓(肝・心・肺・脾・腎)の健康を保つことが重要視されています。

その後、発酵食品や日本の漬物文化についても話し合いました。

2024年4月5日の教室で、彼がとても懐かしそうに話してくれたのは、まさにお母さんの味、白菜の酸菜(スワンツアイ)のことでした。

私は、乳酸菌と旨みが詰まった発酵白菜が、中国・東北地方で食べられてきた酸っぱい白菜の漬け物だと初めて知りました。ぜひ自分でも作って味わいたいと思いました。そして、彼は4月12日に、発酵白菜のレシピを書いて詳しく紹介してくれました(次の記事)。



スワンツアイ はっこうはくさい 酸菜(発酵白菜)について

1班 王鉄軍さん(中国)

酸菜は中国の東北地方の名物です。冬が来る前に、それぞれの家がある白菜を購入して、洗って、まるでひとつずつ大きなかめにはいります。そして、あつまい水を入ります。最後、きれいな石を上においています。それから、1か月、2か月を経って、発酵してい

てから、白菜はだんだんすっぱくなって、酸菜になります。酸菜は、よくぶた肉や、豆腐、粉条などと一緒に煮ています。粉条はジャガイモまたはサツマイモからつくって、春雨みたいのもの。

たいわんりょこうき 台湾旅行記

札葉 正隆さん(ボランティア)

昨年(2023年)の11月に市岡日本語教室のボランティア仲間8人で台湾旅行に行ってきました。4泊5日高雄を拠点に台湾南部を見物しました。

日本統治時代に造られた二つのダム、烏山頭水庫(八田ダム)と二峰圳(アーフェンチェン)を見学しました。烏山頭水庫は八田與一が設計施工したダムです。嘉南平野の農業と治水に大いに役立ちました。八田與一のことは日本ではあまり知られていませんが、台湾ではたいいていの人が知っているそうです。

二峰圳は地下に水を貯めるダムです。ダムといえばダムの上流に大きなダム湖があるというイメージですが、このダムは地下に水を貯めるそうです。そういうダムがあるということを知り初めて知りました。

それ以外には台湾南部の観光地を訪れました。墾丁や台湾最南端の鵝鑾鼻、古都台南、台湾第二の都市高雄などです。

十年以上前に日本語教室に来ていた学習者とも再会しました。一緒に台湾の家庭料理のお店で食事しました。料理は家庭の居間で家族で食事をするという形式で提供されました。あえて取り皿などは出さず、めいめいが自分のお茶碗のごはんの上におかずをつけて食べます。まるで台湾映画の家族の食事の場面そのものでした。

毎日、おいしいものをいただき、たいへん楽しい旅になりました。

コロナも少し治まり、また海外旅行ができるようになりました。こうしてボランティア仲間と一緒に旅をするのもいいものです。みなさんもいかがですか。

